

事業シート2

課コード: 000630000
 担当組織: 生涯学習課

作成日: 平成24年4月1日
 責任者: 河野 拓明

基本政策	課	政策	目	事業
計画コード 03	03	0124	01	012402

款	項	目	事項
予算コード 06	29	07	07

款	項	目	事項

事業名: 生涯学習機会提供事業

事業費 (予算) (単位:千円)	23年度	24年度	比較	人工 (正規職員) (単位:人)	23年度	24年度	比較
	17,271	17,141	130		0.9	0.9	0.0
24年度 事業費内訳 (単位:千円)	需用費	委託料	工事請負費	公有財産購入費	負担金補助 及び交付金	扶助費	その他
	1,495	8,344			900		6,402

事業の目的

市民がいつでも自由に学びふれあうことが出来る機会を提供することにより、豊かな人間性を育みます。

事業内容(平成24年度に何をやるか)

「講座・講演会等開催事業」

市民がいつでも、どこでも、だれでも自由に学びふれあうことが出来る学習環境づくりのため、市民アカデミー、いきいき大学、文化講演会、ユネスコ科学教室など、各種の講座、教室、講演会等を開催し、市民へ生涯学習機会の提供を行います。

「フェスティバル開催事業」

市民の学習成果を発揮する機会や場づくりや、市民への生涯学習の普及と啓発、生涯学習施設で活動する団体の育成・交流を図るため、各地域でフェスティバルを開催していきます。

「学習成果活用支援事業」

生涯学習施設を拠点として、市民が日常生活の中で培ってきた知識や経験等の学びを、社会に還元する機会を提供することで、市民主導による講座等学習活動を開催する仕組みづくりを進めていきます。

これまでの取組状況(平成23年度に何をを行い、その結果はどうか)

「講座・講演会等開催事業」では、市民アカデミー、いきいき大学、文化講演会、ユネスコ科学教室など、市民がいつでも、どこでも、だれでも自由に学びふれあうことが出来る学習環境づくりのため、各種の講座、教室、講演会等を開催し、市民へ生涯学習機会の提供を行いました。

「フェスティバル開催事業」では、生涯学習推進フェア、生涯学習フェスティバル、文化芸術祭など、学習成果を適切に生かすことのできる仕組みづくりのため、生涯学習推進のためのフェスティバル事業を開催しました。生涯学習推進フェアでは、およそ100名の事業スタッフが「学習成果を発揮する意義」について、事例を展示したり、体験的に紹介したりして、500人を超える来場者へ伝えることができました。

「学習成果活用支援事業」では、退職した団塊世代等の社会参加促進を図り、生涯学習活動の担い手として育成することにより、市民活動団体の固定化や参加者数の減少等、各地域における生涯学習の課題の解決について取り組んでいます。23年度は事業を拡大して、生涯学習施設47施設において事業を実施し、86の実施者(個人・団体)が、94の講座・講演会の企画・運営を実施することができました。

開始年度	終了予定年度	事業の性格分類	根拠法令等					
平成 3 年	年	自治事務						
会計区分	戦略性	マニフェスト	事業の特徴	施設管理	指定管理	受益者負担	補助金	市民協働
一般会計	分野別計画							
行革審答申	外部評価	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
	*H20は事業仕分け							

(単位:千円)		H22	H23	H24	H25計画	H26計画	H23～26計
事業費	予算	15,968	17,271	17,141	17,141	17,141	68,694
	決算	13,782	14,768				14,768
財源内訳	国・県支出金						0
	市債						0
	その他	968	1,005	794	794	794	3,387
	一般財源	12,814	13,763	16,347	16,347	16,347	62,804
	*一般会計繰入						0
人件費(報酬等)							0
人件費		8,400	7,200	7,200	7,200	7,200	28,800
内訳	人工(正規)	0.7	0.9	0.9	0.9	0.9	
	人工(非常勤)	1.0					
	人工(再任用)						
年間経費(事業費+人件費)		22,182	21,968	24,341	24,341	24,341	94,991

成果指標1		市民アカデミー受講率(延受講者数/定員)					
種類	アウトプット(活動指標)	単位	H22	H23	H24	H25	H26
	目標	%	80	80	80	80	80
	実績	%	72.5	74.7			

成果指標2		学習成果活用支援事業における実施者(個人・団体)数 (累計)					
種類	アウトプット(活動指標)	単位	H22	H23	H24	H25	H26
	目標	実施者	17	49	49	49	49
	実績	実施者	21	86			

事業の成果(平成23年度末での目的の実現状況 活動ではなく状態)

市民がいつでも、どこでも、だれでも自由に学びふれあうことが出来る学習環境づくりと市民の学習成果を発揮する機会や場づくりにより、市民の学習意欲を満ち豊かな人間性を育むことや、地域や個人の課題の解決の一助となる機会の提供、生涯学習の普及啓発ができました。

評価(平成23年度事業の評価)

(1) 必要性: 継続

(廃止した場合に考えられる影響)

生涯学習や高等教育の学習機会の充実は、市民の学習意欲を満たすものであり、また地域コミュニティの形成にも有効であることから、市民ニーズも高く、必要な事業です。

(2) 責任主体: 市

(市が実施しない場合に考えられる影響)

学習機会の提供は、人づくりとまちづくりを目指した市の施策であり、行政が主導で行うものです。

(3) 拡大・縮小: 現状

(理由)

事業の精査と企画等の努力により必要経費の軽減を進めてきた中で、効果ある事業実施のためには必要最低限の経費まで精査しています。

(4) 改善: その他改善

(理由)

市民の学習成果を発揮する機会や場づくりを提供し、支援することで、市民協働及び市民主体で生涯学習が展開できる仕組みづくりを進めます。

今後の方向性 改善

生涯学習への市民ニーズが高まるなか、よりニーズに合った事業展開をするとともに、多様で高度な学習機会を継続して提供していきます。また、学習成果活用支援事業においては、23年度からは実施対象施設を49施設に拡大し、取り組んでいます。

改革・改善(評価を反映して何を見直したか)

(1) これまでに実施した改革・改善(平成24年度予算で反映したものを含む)

学習成果活用支援事業において、23年度から市全域への事業拡大が適当と判断し、実施対象施設を14施設から49施設に拡大しました。23年度の取り組み結果として、47施設で86の実施者が94の講座・講演会の企画・運営を実施することができ、市民主導による講座等学習活動を開催する仕組みづくりに繋げることができました。

(2) 今後の改革・改善計画(いつまでに何をどう見直す)

学習成果活用支援事業において、23年度から拡大して実施した結果、当初予定の実施事業数を上回ることができたことから、24年度以降も全市域において事業展開し、市民主導による講座等学習活動を開催する仕組みづくりを目指していきます。

補足シート2 -

	款	項	目	事項
予算コード	06	29	07	07 06

事業名：講座・講演会等開催事業

事業費 (予算) (単位:千円)	23年度	24年度	比較	施設管理	指定管理	受益者負担	補助金	市民協働
		11,601	11,601					
24年度 事業費内訳 (単位:千円)	需用費	委託料	工事請負費	公有財産購入費	負担金補助 及び交付金	扶助費	その他	
	1,397	3,237			900		6,067	

事業内容(平成24年度に何をやるか)

市民がいつでも、どこでも、だれでも自由に学びふれあうことが出来る機会として、市民アカデミー、いきいき大学、文化講演会、ユネスコ科学教室など、各種の講座、教室、講演会等を開催していきます。

これまでの取組状況(平成23年度に何をを行い、その結果はどうだったか)

生涯学習課、各区のまちづくり推進課、各地域自治センターの地域振興課が、市民がいつでも、どこでも、だれでも自由に学びふれあうことが出来る学習環境づくりのため、各種の講座、教室、講演会等を開催し、市民へ生涯学習機会の提供を行いました。

補足シート2 -

	款	項	目	事項
予算コード	06	29	07	07 11

事業名：フェスティバル開催事業

事業費 (予算) (単位:千円)	23年度	24年度	比較	施設管理	指定管理	受益者負担	補助金	市民協働
		2,519	2,389					
24年度 事業費内訳 (単位:千円)	需用費	委託料	工事請負費	公有財産購入費	負担金補助 及び交付金	扶助費	その他	
	98	1,956					335	

事業内容(平成24年度に何をやるか)

学習成果を適切に生かすことのできる仕組みづくりとして、生涯学習推進フェア、生涯学習フェスティバル、文化芸術祭等の生涯学習推進のためのフェスティバル事業を開催していきます。

これまでの取組状況(平成23年度に何をを行い、その結果はどうだったか)

生涯学習課、各区のまちづくり推進課、各地域自治センターの地域振興課が、学習成果を適切に生かすことのできる仕組みづくりのため、生涯学習推進のためのフェスティバル事業を開催し、市民の学習成果を発揮する機会や場づくりや、市民への生涯学習の普及と啓発、生涯学習施設で活動する団体の育成・交流を図ることができました。生涯学習課が実施した生涯学習推進フェアでは、およそ100名の事業スタッフが「学習成果を発揮する意義」について、事例を展示したり、体験的に紹介したりして、500人を超える来場者へ伝えることができました。

補足シート2 -

	款	項	目	事項
予算コード	06	29	07	07 26

事業名： 学習成果活用支援事業

事業費 (予算) (単位:千円)	23年度	24年度	比較	施設管理	指定管理	受益者負担	補助金	市民協働
	3,151	3,151	0					
24年度 事業費内訳 (単位:千円)	需用費	委託料	工事請負費	公有財産購入費	負担金補助 及び交付金	扶助費	その他	
		3,151						0

事業内容(平成24年度に何をやるか)

公民館等生涯学習施設を活動拠点に、市民からの地域の課題や特色に関わる提案(目的や内容、方法、人材等)を活用し、市民主導による講座等学習活動を開催する仕組みづくりを進めていきます。本事業実施により、退職した団塊世代等の社会参加促進を図り、生涯学習活動の担い手として育成することにより、市民活動団体の固定化や参加者数の減少等、各地域における生涯学習の課題の解決を進めることができます。

23年度に引続き、生涯学習施設49施設を対象に実施していきます。

これまでの取組状況(平成23年度に何をを行い、その結果はどうなったか)

3年目となる23年度は、市全域への事業拡大が適当と判断し、実施対象施設を14施設から49施設に拡大しました。23年度の取り組み結果として、47施設で86の実施者が94の講座・講演会の企画・運営を実施することができ、市民主導による講座等学習活動を開催する仕組みづくりに繋げることができました。

《事業名》

「生涯学習機会提供事業」

《事業内容》

各種講座、教室、講演会や学習成果を発揮する場となる生涯学習フェスティバルなどを開催し、市民がいつでも自由に学びふれあうことが出来る機会を提供することにより、豊かな人間性を育む。

(1) 講座・講演会等開催事業

各種の講座、教室、講演会等を開催し、市民へ生涯学習機会の提供を行うことにより、市民がいつでも、どこでも、だれでも自由に学びふれあうことが出来る学習環境づくりを図る。

別紙チラシ「ユネスコ科学教室」「浜松市民アカデミー」参照

(2) フェスティバル開催事業

日ごろの学習活動の成果発表会などを開催することにより、市民の学習成果を発揮する機会や場づくり、市民への生涯学習の普及と啓発、生涯学習施設で活動する団体の育成・交流を図る。

別紙チラシ「春野文化展」参照

(3) 学習成果活用支援事業

生涯学習施設を拠点として、市民が日常生活の中で培ってきた知識や経験等の学びを、社会に還元する機会を提供することで、市民主導による講座等学習活動を開催する仕組みづくりを図る。

別紙チラシ参照

年度	実施施設数	実施者数	実施事業数	延参加人数(人)
23年度	47	86	94	7,719
22年度	14	21	21	3,478
増減	33	65	73	4,241

主催：浜松市

ユネスコ科学教室

ユネスコ(UNESCO)とは、教育・科学・文化機関の略称で、国際連合の専門機関の一つです。浜松ユネスコ協会は1948年4月に設立され、政府のユネスコと一体となり教育・科学・文化の発展を通して人間の理解や平和について努力してきました。

学校委員会では、特に子どもたちの「科学する心」の育成をめざして小学生対象の「科学教室」を開催しています。平成23年度もよりよい活動となるようさらなる工夫を重ね、下記の計画で実施いたします。科学する心を通して、いのちや自然そして人間の未来について、多くのことを学んでもらいたいと思います。

富士山の自然やラジオ作りに挑戦 平成23年度生徒募集



微生物とホタル
富士山の自然

平成23年度 年間活動計画

4月29日(金)	<開講式・科学館見学> 午前 プラネタリウム
5月21日(土)	<生命の不思議> 1日 チョウと植物 天竜川のチョウ
6月18日(土)	<水と生命> 午前 微生物とホタル
7月16日(土)	<富士山の自然>* 1日(貸切バス) 新五合目から宝永火口を歩こう
10月15日(土)	<郷土の自然史>(天竜河原) 1日 天竜川と岩石 岩石標本を作ろう
11月 5日(土)	<秋の自然観察> 1日 木の実探索
12月23日(金)	<電波の不思議>* 午前 ラジオを作ろう
2月 4日(土) 5日(日)	<宇宙への挑戦>* 1泊2日 神秘的な星の世界をのぞこう (観音山少年自然の家) 貸切バス手配あり
3月 3日(土)	<閉講式・ユネスコと私> 午前 記念樹を植えよう

<問い合わせ先>

浜松ユネスコ協会
学校委員会

吉田 寿礼 465-5185
石塚 稚人 090-4409-9049

浜松市生活文化部生涯学習課

〒430-8652 浜松市中区元城町103-2 浜松市役所本館6F
TEL053-457-2413 FAX053-457-2563

【対象】平成23年度の小学校5・6年生

【募集人員】100名程度

【期間】平成23年4月～平成24年3月

【会場】

浜松科学館、静岡文化芸大、天竜川河原、
富士山、観音山少年自然の家など

(現地集合、現地解散を原則としますが活動に
より貸し切りバスを利用します。)

【会費】 4000円(1年間分)

保険料、資料代、教材費、通信費 他
開講式当日、受付で集めます。

(ただし、年間活動計画の*印については別に
活動実費が必要となります。)

富士山：5,500円 ラジオ：1,000円

観音山：2,600円 大人参加は3,200円)

【スタッフ】浜松ユネスコ協会学校委員会

(浜松市内小中学校教員・浜松ホトニクス社員他)

【申し込み方法】

往復はがきにて下記のことをもれなく記入し
て学校委員会、吉田あてにお申し込み下さい。

参加者名、よみがな、性別

学校名、学年

保護者名

郵便番号

住所

電話番号

4月22日(金)

必着

下記のメールでも受け付けます

gakakukyoshitsu-hamamatsu-1987@unes
co.or.jp

【申込先】 〒435-0056

浜松市東区小池町1091-8

吉田 寿礼(学校委員会)

浜松市制100周年記念

第40回春野文化展のご案内

日時 平成24年2月3日(金) 午後5時 ~ 午後8時

4日(土) 午前9時 ~ 午後8時

5日(日) 午前9時 ~ 午後4時

今回は、土曜日の夜間も開催しています。ぜひご来場ください！！

場所 春野文化センター

主催 浜松市・春野文化展実行委員会



一般展（ホールにて）

ホール1F 生花、書、写真、俳句、絵画など文化協会や老人クラブ・一般の方々の作品や小中学校児童・生徒の書写、春野高校生徒の美術書道の作品を展示。

ホール2F 町内の幼稚園園児・小中学校児童、生徒の図画工作の作品を展示。

特別展（ロビーにて）

春野地域内の幼稚園や小学校で実施した親子陶芸教室での親子の陶芸作品を展示します。

茶道公開（ロビーにて）

5日(日)の午前9時から文化協会茶道部員によるお茶とお菓子のサービスがあります。＜無料・お菓子が無くなり次第終了させていただきます。＞



ご来場の際には、インフルエンザ予防にご協力ください。(マスクの着用や手指消毒等)

問合せ先 春野文化センター ☎989-0200

浜松市制100周年記念

第40回春野文化展のご案内

日時 平成24年2月3日(金) 午後5時 ~ 午後8時
4日(土) 午前9時 ~ 午後8時
5日(日) 午前9時 ~ 午後4時

今回は、土曜日の夜間も開催しています。ぜひご来場ください！！

場所 春野文化センター
主催 浜松市・春野文化展実行委員会



一般展（ホールにて）

ホール1F 生花、書、写真、俳句、絵画など文化協会や老人クラブ・一般の方々の作品や小中学校児童・生徒の書写、春野高校生徒の美術書道の作品を展示。

ホール2F 町内の幼稚園園児・小中学校児童、生徒の図画工作の作品を展示。

特別展（ロビーにて）

春野地域内の幼稚園や小中学校で実施した親子陶芸教室での親子の陶芸作品を展示します。

茶道公開（ロビーにて）

5日(日)の午前9時から文化協会茶道部員によるお茶とお菓子のサービスがあります。<無料>

ご来場の際には、インフルエンザ予防にご協力ください。（マスクの着用や手指消毒等）

出展作品を募集しています！！

市民の皆様から一般展への出展作品を募集しています。絵画、書、写真、手芸品などさまざまな作品をお待ちしております。出展を希望される方は、下記の出品表に必要事項をご記入のうえ、1月20日(金)までに春野文化センターまで提出してください。

なお、作品の搬入・搬出日程は、
作品搬入 2月3日(金)午後2時～午後4時
作品搬出 2月5日(日)午後4時～午後5時 です。
(なお展示中の作品の破損等の損害については賠償しかねますのでご承知願います。)

問合せ先 春野文化センター ☎ 9 8 9 - 0 2 0 0 FAX: 9 8 9 - 0 2 6 4

きりとじせん

第40回春野文化展出品表（※切：1/20(金) 提出先：春野文化センター）

出品者氏名			
出品者住所	天竜区春野町	電話番号	-
	作品の種類	点数	備考（作品の大きさなど）

公民館を会場にして、自分たちで 講座の講師や講座、教室の企画・運営をしてみませんか

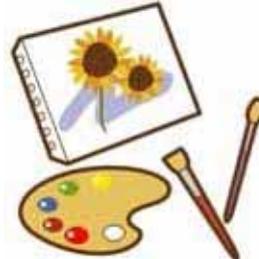
学習成果活用支援事業

実は免許・資格を
もっています



パソコンなら教えてあげるよ

流行の川柳を
みんなで楽しみたい



自分の技術を伝えたい



公民館では、自分たちで講座の講師をしてみたい、講座や教室を企画・運営してみたい方たちを募集します。

自分たちでもっている学びや知識、経験を地域に生かしたい、今もっている生涯学習への思いを自分たちで実現してみたい。そんな思いをもっている方・団体を公民館で支援していきます。たくさんの応募をお待ちしています。

【応募資格】

公民館周辺地域に在住もしくはは在勤の方、または団体

【応募方法】

申込書を作成し、提出していただきます。
(申込用紙は公民館窓口にあります。詳しくは職員にお尋ねください。)

【採用・決定等】

までに採否を決定し、申込された方・団体に連絡させていただきます。

～実施にあたって～

この事業は、あなたが主役です。

公民館だよりに、事業の開催案内を掲載する予定です。

受講料として徴収できるものは、テキスト代や材料代等の実費に限ります。

募集期間は平成 年 月 日()～ 月 日()

実施期間は、採用決定から平成 年 月 日()

応募について

公民館でお手伝いできること

この事業につきまして、不明なことや相談したいこと等がございましたら、お気軽にお尋ねください。

職員が皆様のご相談に応じます。

希望会場、希望開催時間等について、ご相談の上、調整させていただきます。

事業の企画や運営等にかかる印刷経費や用紙等の消耗品費等につきましても、ご相談に応じます。

公民館の予算内で、皆さまの企画事業を支援します。

Q & A

- Q プランは持っているけれど、具体的にどうしたらいいのだろう。
A OO公民館までお問合せください。職員がプラン実現のための相談に乗ります。※予算の都合上、ご希望に応えられない場合もあります。
- Q 講師にだれかいい人がいないかしら。
A 浜松市の生涯学習講師登録されている方を紹介いたします。
- Q 会場（部屋等）は、どこを使えばいいのだろう。
A 希望する事業開催時期や時間帯など、打合せしていく中で調整いたします。
- Q 講座案内等のPRチラシの作り方が分からない。
A 職員が、チラシの作り方等の広報についてアドバイスいたします。
- Q 申請書類の書き方がよく分からない。
A 職員が、申込書、企画書等の書き方を説明いたします。
- Q あれもこれもやってみたい。
A 採用する事業の数及び規模等は、予算の範囲内となります。
- Q 公民館の使用料はどうなるの？
A 公民館使用料は、学習成果活用支援事業として無料で使用できます。

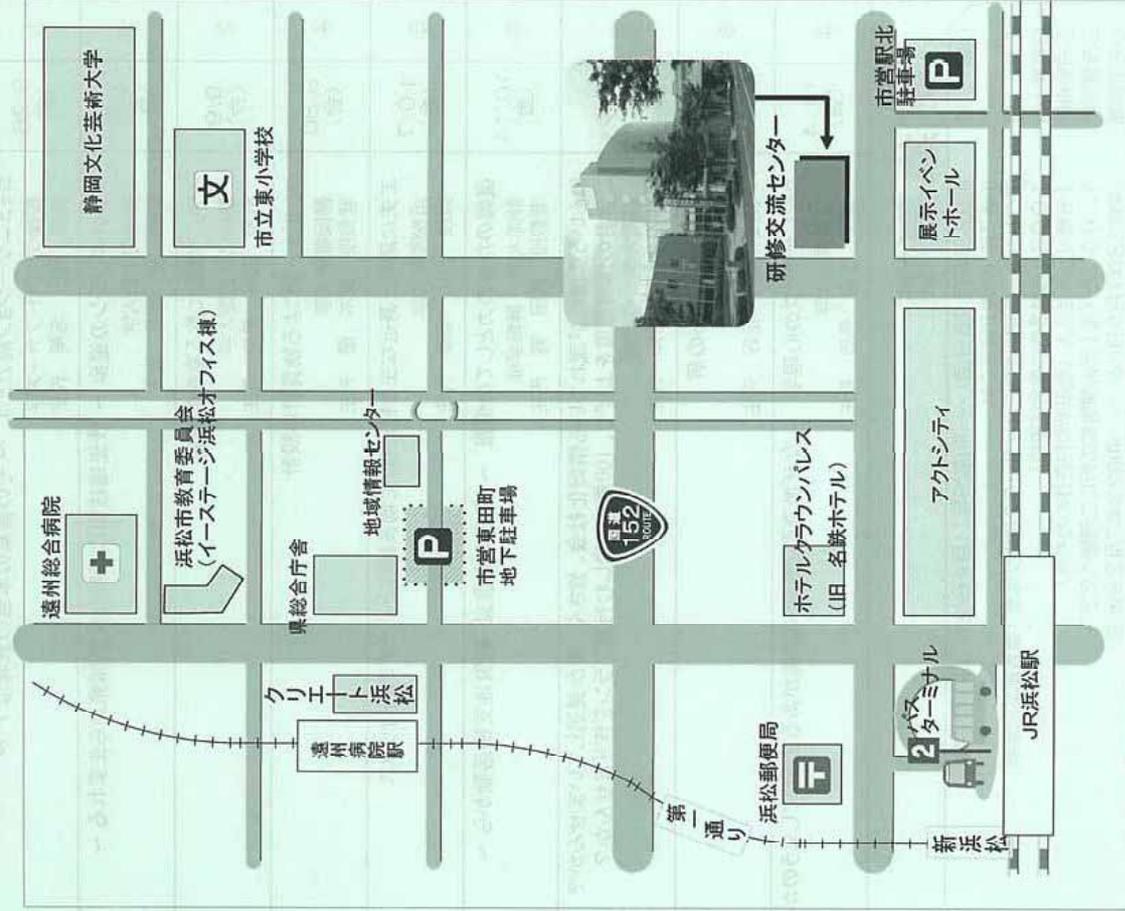
★ご注意ください

※ 以下の内容は実施できません。

- ✕ 営利活動(宣伝等を含む)を目的とした内容
- ✕ 特定の政党や宗教を支持、宣伝普及することを目的とした内容
- ✕ 公共の秩序や健全な風俗等に反する内容
- ✕ 公共の福祉を害する内容

お問合せ先
OO公民館 000-0000

【会場周辺案内図】



「浜松市民アカデミー」に関するお問い合わせ先

浜松市中区役所 まちづくり推進課

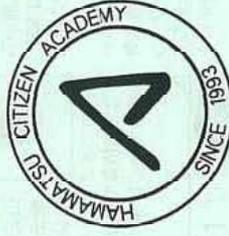
〒430-8652 浜松市中区元城町103番地の2

TEL: (053) 457-2133 / FAX: (053) 457-2786

平成23年度

第19回

浜松市民アカデミー



受講生募集のお知らせ

【総合テーマ】

『目指そう！心豊かな暮らし』

～今こそ学び知識と知恵～

浜松市

さまざまな情報が交錯する現代社会、それら情報を正しく読み解くことで、自分の生き方に新たな道を開くことを目指すことが出来る環境とも考えます。より賢く、よりスマートに生きていくために新たな知識・知恵を加えてみませんか。「浜松市民アカデミー」では、向学心旺盛なあなたを満足させる9講座をご用意いたしました。県西部8大学の先生方が、専門性を生かし、最新の情報と知識と知恵をお届けいたします。ご期待ください。



①【**原田 先生**】人と人とのコミュニケーションを行うには、言葉の意味だけではなく、その場の空気を読む、相手の気持ちを考える等の能力が必要です。同じ言葉でも用いられる状況によって意味が異なっていたり、言葉の裏に本当の意味があったり、普段何気なく行っているコミュニケーションは、感性、想像力、推察力、そして、多くの経験がなければ成り立たないものです。言語発達や脳損傷との関連という観点から言葉をとらえ、コミュニケーションについて一緒に考えたいと思います。どうぞ、よろしくお願いたします。



②【**安 先生**】東日本大震災の被災者達が元の生活に戻そうと知恵を使って頑張っている姿には心打たれた思いでいっぱいです。日本の強さは、戦後の混乱期から前向きな姿勢で知識と知恵を使い、日本独自のスタイルを確立したことであり、このたびの困難もきつと克服できるものと信じております。ジェットエンジン開発に携わった先達(せんだん)がいりいろな技術分野の知識を使い、知恵を絞る地道に努力してそれぞれ最先端技術を集大成した製品のひとつがジェットエンジンと言っても過言ではありません。今回はジェットエンジン技術開発の一端を紹介いたします。



③【**高田 先生**】この20年ほどの間にイタリアに旅行する人は急増し、美術、料理、ファッションなど多くの分野でイタリアの文化に強い関心が寄せられています。イタリアはまた、演劇の分野でも長い歴史を持ち、現在もおヨーロッパ有数の優れた舞台作品を生み出しています。今回の講義では、他の分野に比べるとあまり知られていないイタリアの演劇について、代表的な作品を映像で紹介し、そこで演じられる愛いを通して、イタリア人の人生観が見えてくるはずです。



④【**青木 先生**】近年の技術の進歩によって原子を一個ずつ積み重ねて物質を作るナノテクノロジーが発展分野となつてきました。どんな原子を、どのように積み重ねたら、どんな性質の物質ができるのかを全て実験的に調べることは非常にコストがかかります。そこで注目を集めているのが「コンピュータによる物質材料設計」です。本講義では、コンピュータの発展とそれに伴う物質材料設計の発展について説明し、受講生のみなさんと共に、これから到来する素晴らしい未来について思いを馳せたいと思います。



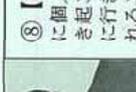
⑤【**針山 先生**】38 歳年もの長い時間、生き物たちは改良に改良を重ねてきました。改良の結果、多くの種が誕生しました。たくさんの種に分かれた生物多様性の重要性は、昨年名古屋で開催された COP10 でも十分に議論されましたが、実は生物が秘めている不思議な仕組みの大切さはあまり考えられていません。性能試験を繰り返してきた生物をわたしたちの生活に利用すれば、巨大なエネルギーを使わない産業を起こすこともできます。ヒトが快適に生き残るためには、ヒトと生物の関係と、生物が工夫を重ねてきた仕組みの面白さを見つめる必要があるのではないのでしょうか。



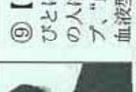
⑥【**吉田 先生**】被災地復興のための情報支援とは何だろうか？ そんな思いで被災地である宮城県山元町へ向かいました。そこで、ニーズを発見し、地元災害ラジオ支援、水没写真の洗浄デジタル化プロジェクト、そして地元の子供たちへの教育支援を行ってきました。その中で、何かよそよそしく、日々我々を追い立てる情報ではなく、人々の心を支え、復興の力となるような情報のあり方に気づきました。今回はそのお話をしたいと思います。



⑦【**上田 先生**】日頃、大量の情報シャワーを浴びている皆様、大事な何かを見逃していないでしょうか？ 情報の流れに押し流されて、ご自身に必要な情報をつかむ事が出来ない、あるいは間違った情報をつかんでいる状況はないでしょうか？ 28 年間に職した製造メーカーでの様々な実務経験から気がついた「自分らしさの感性」を見つけるやり方のヒントをお話しします。そして、これからの毎日を、更にアクティブに楽しむご自身のやり方を見つける演習をしましょう。



⑧【**河合 先生**】こころの病は、体の病気と同じように個人の特つ特性と周りの環境との相互作用により引き起こされます。しかしながら、このような考えが社会に行き渡っていないため、病に苦しむ方々が不利に晒されるのが少なくありません。こころの病が起るメカニズムは未だ十分に解明されていませんが、現在の精神医学で分かっていた知見を踏まえ、うつ病、PTSD、統合失調症を例に挙げてこの相互作用について解説したいと思います。また、診断や治療など診療の実際についてもお話しますので、こころの病の理解に役立てていただければと思います。



⑨【**土倉 先生**】ステレオタイプとは、ある集団の人びとに対するイメージを指します。たとえば「〇〇出身の人はこういう性格である」という出身地ステレオタイプ、「血液型が〇型の人はこういう性格である」という血液型ステレオタイプがよく知られています。血液型ステレオタイプは、多くの研究が血液型と性格の関連を否定しているにも関わらず、いっこうに消える気配がありません。どうしてステレオタイプは無くならないのでしょうか。ステレオタイプが維持されてしまうメカニズムについてお話ししたいと思います。

講座内容・開催日程

回	講義日	内容
①	8/26 (金)	コミュニケーション能力とは ～その言葉の本当の意味は？～ 聖隷クリストファー大学 教授 原田 浩美 先生
②	9/2 (金)	ジェットエンジンの進歩 ～最先端技術は着実な技術開発から生まれる～ 静岡理工科大学 教授 安 昭八 先生
③	9/9 (金)	イタリア演劇に見る喜劇的精神 静岡文化芸術大学 教授 高田 和文 先生
④	9/30 (金)	コンピュータによる物質材料設計 静岡産業大学 准教授 青木 優 先生
⑤	10/7 (金)	工夫に満ちた身近な生き物たち：生物多様性とバイオメティクス 浜松医科大学 教授 針山 孝彦 先生
⑥	10/14 (金)	復興のための力としての情報 ～東日本大震災 被災地支援活動から～ 静岡大学 情報学部 准教授 吉田 寛 先生
⑦	10/21 (金)	いろいろな情報感度が流れている情報化社会、皆さん、何か見逃していませんか？ ご自身の情報感度を上げて、100歳まで楽しむ行動プランを作りませんか？ 静岡大学 工学部 教授 上田 芳伸 先生
⑧	10/28 (金)	現代社会とこころの病 浜松大学 教授 河合 正好 先生
⑨	11/4 (金)	ステレオタイプの心理学 —なぜ血液型と性格に関連があると感じてしまうのか— 浜松学院大学 講師 土倉 英志 先生

募集要項

〇日 時 平成23年8月26日(金)～平成23年11月4日(金) [全9回の講義]
午後7時～午後8時50分
〇会 場 アクトシティ浜松研修交流センター62研修交流室(裏表紙地図参照)
〇募集人員 100名(応募多数の場合は抽選)
〇応募資格 18歳以上の社会人(周辺市町村在住の方でも可)
〇受講費用 1,000円(第1回の開講式の折にご用意ください。)
〇応募期間 平成23年7月5日(火)～平成23年7月29日(金)
〇応募方法 ① 住所、氏名、年齢、電話番号、過去の受講回数等を記入の上、下記問い合わせ先まで郵送してください。(当日消印有効)
② 浜松市ホームページ[トップページ]「講座」市アカデミー]よりメール送付してください。(応募期間最終日までの送信有効)
※フアクシミリでの申し込みはご遠慮ください。
〒430-8652 浜松市中区元城町103-2
浜松市中区役所 まちづくり推進課 市民アカデミー係 Tel. (053) 457-2133
email : c-machi@city.hamamatsu.shizuoka.jp